



北陸学院大学

受講料
無料

レデック
RDeC
地域教育開発センター

公開講座

2024

テーマ

しょうせんけいご

承先啓後

～過去に学んで未来を拓く～



連 続
公開講座

～いのちの
重さと輝き～

人新世の複合危機と 人類の未来

講 師

齋藤 幸平氏

KOHEI SAITOU



©島本絵梨佳

日 時

2024/6/15 [土] 13:00～15:00

人類が直面している危機は気候変動だけではない。「ポリクライシス」という言葉が示すように、戦争、感染症、インフレなどのリスクは絡み合い、崩壊へと突き進む可能性がある。緊急事態においては、これまでのやり方を改め、大胆な発想の転換が求められる。その一つとして注目を集めているのが、脱成長である。近年のアカデミア、政治や社会運動における脱成長の要求を踏まえながら、脱成長が提示する新しい未来社会の姿を描く。

定 員

120名

会 場

北陸学院大学 石川県金沢市三小牛町111番地
(TEL) 076-280-3856

司 会

田中 純一氏

(地域教育開発センター長、社会学科教授)

参加対象

高校生、大学生、一般

講師プロフィール

齋藤幸平(さいとう・こうへい) 1987年生まれ。東京大学大学院総合文化研究科准教授。ベルリン・フンボルト大学哲学科博士課程修了。博士(哲学)。専門は経済思想、社会思想。Karl Marx's Ecosocialism: Capital, Nature, and the Unfinished Critique of Political Economy(邦訳『大洪水の前に』角川ソフィア文庫)によって権威ある「ドイッチャー記念賞」を日本人初、歴代最年少で受賞。同書は世界9カ国で翻訳刊行されている。日本国内では、晩期マルクスをめぐる先駆的な研究によって「日本学術振興会賞」受賞。

著 書

『マルクス解体』(講談社)、『ゼロからの『資本論』』(NHK新書)、『ぼくはウーバーで捻挫し、山でシカと闘い、水俣で泣いた』(KADOKAWA)。
『人新世の『資本論』』(集英社新書)



託児について

利用無料

完全予約制

対 象 0～6歳

定 員 10名

締 切 5/31(金)まで

ご希望の方は「託児希望」とお書き添えの上、お申し込みください。必要事項について確認のご連絡をさせていただきます。

生涯学習講座

美術学入門 ～九谷焼及び 陶磁器の鑑定方法～

司会 崎浜 聡氏
(幼児教育学科准教授)

日時

11/2 [土]
10:30～11:30

定員
15名

九谷焼及び陶磁器の価値や贋作などの鑑定方法について解説し、実際に真作の陶磁器を鑑賞して真偽を見極める目を高めたいと思います。

申込期限 10月25日(金) 参加対象 一般

※高価な陶磁器等を鑑賞します。

持ち物 ルーペや虫眼鏡

冬の連続公開講座

あったか地域の大家族 ～富山型サービスの30年～

司会 田中 純一氏
(地域教育開発センター長、社会学科教授)

10/19 [土]
13:00～14:30

定員
80名

1993年、赤ちゃんからお年寄りまで、障害があっても無くても、誰もが利用できるデイサービス「このゆびと一まれ」を開所。モットーは「豊かな人間関係の中で、人は育ち、喜びも大きい。一人ひとりが輝く。」こと。2018年、共生型デイサービスが介護報酬に入り制度となった。25年かかりましたが、今では全国に3,000事業所。富山県下132事業所に広がっています。共生ケアがあたり前の日本に、いや世界になれば良いと思っています。国際連合(国連)も地域共生社会を勧めています。今なぜ共生型なのかを皆さんと考えたいと思います。

申込期限 10月11日(金) 参加対象 一般、大学生

講師

惣万 佳代子氏
KAYOKO SOUMAN



講師プロフィール

特定非営利活動法人デイサービスこのゆびと一まれ理事長

略歴 1951年 生まれ 富山県在住
1973年 富山赤十字高等看護学院卒業
富山赤十字病院に勤務
1993年 富山赤十字病院を退職
民営デイケアハウス「このゆびと一まれ」を開所
1999年 クロッカルゴーデン基金受賞
2002年 『笑顔の大家族 このゆびと一まれ』出版 水書坊
2004年 女性のチャレンジ大賞受賞『毎日介護賞』受賞
2005年 男女共同社会づくり功労者 内閣総理大臣賞受賞
2007年 宅老所・グループホーム全国ネットワーク代表世話人
2015年 第45回フローレンス・ナイチンゲール記章 受章
2016年 第36回エイボン女性年度大賞 受賞
2017年 地方自治法施行70周年記念総務大臣表彰
2018年 藍綬褒章 受章

著書

『笑顔の大家族このゆびと一まれ
ー「富山型」デイサービスの日々』(水書坊)

健康科学部（栄養学科）

いざという時に備える震災食

講師 高信 雅子氏（石川県栄養士会会員）

コーディネーター 三田 陽子氏（栄養学科講師）

日時

6/8 [土] 10:00～12:00

※1 調理実習室にて

定員
8※2
グループ

※1/ 熱源はガスです。あらかじめご承知おきください。※2/ 1グループは1名～4名。

私たちにとって食べることは、どのような状況でも欠かせないことで、私たちの健康状態を左右します。この講座では、非常時、自分や家族を守る食べ方のコツを学びます。また、熱源と最小限の水で、ポリ袋を使って簡単に調理する方法を体験します。お子様とご一緒に参加も歓迎します。

最小催行人数 3グループ 申込期限 5月31日(金)

参加対象 高校生、大学生、一般、ファミリー

持ち物 エプロン、三角巾、マスク、手拭きタオル 材料費 500円程度

親子で楽しむおやつづくり

講師 栄養学科教職員

日時

9/28 [土] 10:00～12:00

※1 調理実習室にて

定員
8組

※1/ 熱源はガスです。あらかじめご承知おきください。

成長期の子どもにとっておやつは身体をつくるものであり、楽しみでもあります。また、慌ただしい日々の生活の中で、親子で一緒におやつをつくる機会は貴重です。この講座では、子どもの体と心を育むおやつを親子で楽しみながらつくります。

最小催行人数 3組 申込期限 9月20日(金)

参加対象 未就学児、小学生と保護者

※参加者の方には、マスクの着用をお願いいたします。
※お申し込みの際、お子様の年齢(学年)をお知らせください。
食物アレルギーがある場合、申込み時にお知らせ下さい。

教育学部（幼児教育学科）

砂場遊びでどのような 資質・能力が育成できるか

講師 虫明 淑子氏（幼児教育学科教授）
川真田 早苗氏（初等中等教育学科教授）

日時

5/24 [金] 16:30～17:30

定員
10名

幼児教育で育成が求められている資質・能力が、小学校教育ではどのように連続し発展していくのでしょうか。本講座では、日々の保育の中で行われている砂場遊びに焦点を当てて検討します。皆さんが持ちよった砂場遊びの事例を交え、幼小接続の観点から、資質・能力を育成する砂場遊びについて考えましょう。

最小催行人数 5名 申込期限 5月17日(金)

参加対象 幼稚園教諭・保育教諭・保育士

教育学部（初等中等教育学科）

英語のオノマトペ

～日本語と比較して～

講師 宮浦 国江氏（初等中等教育学科教授）

日時

6/22 [土] 14:00～16:00

世界中のどの言語にもオノマトペ(擬音)はあると言われています。英語と日本語ではcock-a-doodle-do(コケッココ)のように違う音で表されたりgiggle(クスクス笑う)のように品詞が異なるのも興味深い点です。最近、注目を集めているオノマトペから英語の世界をのぞいてみませんか。

申込期限 6月14日(金)

参加対象 英語に関心を持つ高校生、大学生、一般

※辞書を持参されるとその場で確認しやすいと思います



社会学部（社会学科）

ケース・スタディとビジネス

講師 平岩 英治氏（社会学科准教授）

日時 5/25^[土] 14:00～15:30

ケース・スタディとは、日本語では「事例研究」と呼ばれ、事例を分析して、その背後にある法則や傾向を究明していく研究方法のことを指したり、事例を基にした教育であるケース・スタディ（ケース・メソッド）のことを指したりします。ここでは、ケース・スタディを通じたビジネスの教育・学習などについて解説します。

申込期限 5月17日（金）

参加対象 大学生、一般

コミュニケーション方法の変遷 ～世界が小さくなっていく～

講師 池村 努氏（社会学科教授）

日時 7/20^[土] 14:00～15:30

人類創成の頃から現代までコミュニケーション・情報伝達方法の歴史を振り返り、そして情報伝達機器の変遷を紹介する。コミュニケーション方法の変化と課題を考え、現代社会で求められる情報リテラシーについて学ぶ。

最小催行人数 10名

申込期限 7月12日（金）

参加対象 大学生、一般

キャリアアップ講座

管理栄養士国家試験 対策講座

講師 栄養学科教員
及び外部講師

コーディネーター 新澤 祥恵氏（栄養学科教授）
田中 弘美氏（栄養学科教授）

最小催行人数 5名

申込期限 9月6日（金）

参加対象 管理栄養士国家試験合格を目指す栄養士

受講料 本学卒業生 無料 卒業生以外の方 10,000円

模擬試験及び資料代 8,000円 教材費 テキスト購入申込みの場合 別途8,000円程度

ガイダンス日時 9/14^[土] 13:00～16:30

講座日時 9/28^[土]、
10/5^[土]、19^[土]、26^[土]
11/2^[土] 16^[土] 土曜日6回
9:00～16:00（昼食 12:00～13:00）

27教室にて

※日程等詳細は後日、本学ホームページよりお知らせいたします。

2025年春の管理栄養士国家試験の合格に向けて、出題傾向に沿って内容を解説します。また最新の情報等を提供します。さらに模擬問題の演習を行い、解説や留意点の補足を行います。



キリスト教関連講座

歴史とオルガンが奏でる未来 ～キリスト教学校としての承先啓後～

講師

矢澤 励太氏（北陸学院大学学長）
山本 悦子氏（北陸学院ウィン館館長）
春日 朋子氏（北陸学院中学校・高等学校キリスト教音楽主事）

定員
20名

日時

8/24^{〔土〕} 14:00～16:00

会場

北陸学院飛梅キャンパス 石川県金沢市飛梅町1-10
北陸学院中学校・高等学校、資料編纂室（ウィン館）、
栄光館グロリアチャペル

北陸学院は139年の歴史を刻んできました。この講座では学院史料編纂室に所蔵される貴重な資料を見学し、その上でチャペルのパイプオルガンの讃美演奏に耳を傾け、歴史と未来に思いを馳せます。「承先啓後」の時です。高校生や同窓生、郷土史・パイプオルガンに関心のある方などなたでもどうぞご参加ください。

申込期限 8月16日(金)

参加対象 高校生、大学生、同窓生、一般

駐車場のご利用について

駐車スペースがありませんので、近隣の駐車場（本多の森ホール前の石川県石引駐車場等）をご利用くださるか、公共交通機関をご利用ください。

社会連携講座

障がいを持つ子の親のための メンタルヘルスの支援 ～研究と体験からお伝えしたいこと～

講師

ポーター 倫子氏（幼児教育学科教授）

定員
40名

日時

9/28^{〔土〕} 10:00～11:30

子育て中の親は、育児ストレスや不安を経験していることが指摘されています。特に自閉スペクトラム症児の親のストレスは非常に高いことが知られています。本講座では、科学研究費助成事業（科研費）で進行中の育児ストレス研究の一部データを紹介し、私自身の障害児子育ての経験も交えながら、より良い支援方法を共に考えたいと思います。

最小催行人数 10名

申込期限 9月20日(金)

参加対象 発達障害児（者）の家族や支援者、研究者、一般

お申込み方法

受講を希望される方はWebからお申込みください。

<https://www.hokurikugakuin.ac.jp/univ/redec-application/>



受講料
無料

※材料費は実費で当日徴収させていただきます。

※お申し込み後、本学からのメール返信(redec@hokurikugakuin.ac.jp)を受け取ることで設定をしてください。
※記載いただいた個人情報北陸学院大学地域教育開発センターからのお知らせ以外には使用しません。
※受講者数が最少催行人数に満たない場合は、講座を実施することが難しくなりますので、事務局の判断で中止とさせていただきます。予めご了承ください。中止の場合は電話またはメールでご連絡いたします。
※定員が設定されている講座は先着順とさせていただきます。定員に達し次第申込終了とさせていただきます。

会場

※教室等は当日ご案内いたします。



アクセスマップ

お問い合わせ



北陸学院大学 地域教育開発センター

〒920-1396 石川県金沢市三小牛町イ11番地

(Mail) redec@hokurikugakuin.ac.jp

(TEL) 076-280-3856

(URL) www.hokurikugakuin.ac.jp/univ/redec



お車でお越しの場合

■ 高速道路利用(金沢市内経由) (約30分)

北陸自動車道・金沢西インターチェンジより国道8号「松島北」を金沢市内へ。野町広小路・寺町・平和町交差点を經由し、金沢市老人福祉センター万寿苑を過ぎて右に。三小牛町内を左折。

■ 山側環状線利用

金沢市森本方面から

杜の里経由、「野田町西」を右折し、「野田町」を右折。金沢市老人福祉センター万寿苑を過ぎて右に。三小牛町内を左折。または「長坂台小学校東」を左折、実践倫理宏正会研修会館前を左折し、三小牛町内を右折。

白山市方面から

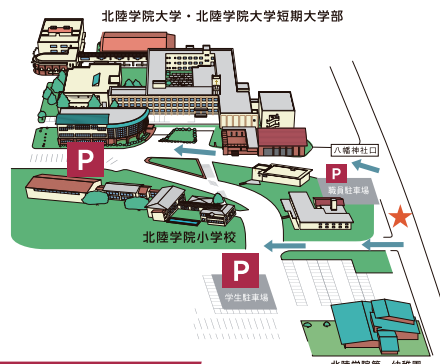
「長坂台小学校東」を右折し、実践倫理宏正会研修会館前を左折し、三小牛町内を右折。



バスでお越しの場合

金沢駅から (約30分+徒歩3分)

JR金沢駅兼六園口バスターミナル9番のりばより、北陸学院大学行(路線番号21)または内川小学校前小原行(路線番号25)乗車、約30分。北陸学院大学前下車、徒歩3分。



駐車場のご案内